

王亮

王求

幸斤

幸反

2012年(平成24年) 6月25日 月曜日

【伊平屋】本島と離島の交流を促進し、離島地域の活性化を目的に行われている「県離島体験交流促進事業」のプログラムで、那覇市立城南小学校の5年生79人が7、8の両日、伊平屋島を訪れ、芋

掘り体験や民泊などで伊平屋の自然を満喫した。自然がいっぱいです。普段皆さんが触れることのできない体験を楽しんで

保育所民営化の条例改正案可決
北中城村議会

議で、村立屋宣原保育所を社会福祉法人に運営移管する村保育所条例の改正案を8対5の賛成多数で可決した。2013年4月1日の施行だが、審議に時間を要したことな

伊平屋の自然満喫

那覇・城南小児童が民泊体験



芋掘りに夢中になる城南小の児童ら=7日、伊平屋村前泊

ぐだい」と歓迎した。児童は芋掘り以外にも林道探検トレッキング、磯釣り、生き物探索、シーカヤック体験などを楽しんだ。

島の特産品料理が振る舞われた夕食会では、伊平屋の小学生との交流会もあり城南小の児童の学校紹介と寸劇、伊平屋の児童は踊りを披露した。城南小の児童らは口々に「楽しい」「とても良

かった」と離島体験に満足した様子だった。離村式で5年1組担任の知念澄勇教諭は「日々の学校生活ではない生き生きとした表情がとても良かった」といい体験になつた」と礼を述べた。島を離れる船上からは色々とりの紙テープが投げられ、児童らは世話をなつた民泊先の住民と別れを惜しがった。

(野甫英芳通信員)